

エコロジカルな回心 —すべてのいのちを守るため—

川内天辰修道院

「ともに暮らす家を大切に」教皇フランシスコのことばは深く心に響いてきます。サステナブルな未来を作っていくために共同体として個人としても今すぐにできる小さなことに日々取り組んでいます。

①プラスチックごみ削減

プラスチックごみが環境保全の妨げになっているということがクローズアップされて、私たちはプラスチックよりも紙の選択をしようと決めました。しかしながら、よいと思っていた紙の選択にも重大な落とし穴があることに気づきました。紙は製造過程においてプラスチックよりも多くの資源を必要とし資源の節約にはなっていませんでした。またプラスチックよりも重量なため輸送時のエネルギーの排出量が多くなり環境への負荷がかかります。私たちは賢い選択をする必要があります。明確なことは、未処理のプラスチック廃棄物が海洋に流出することで生態系に深刻な影響を及ぼしているということ。プラスチック製品の使用や廃棄によって、微小なプラスチック粒子が放出され食物連鎖に影響を及ぼす可能性があるということなどです。そこで環境にやさしい選択として、石油由来のプラスチックに比べて環境への影響が低いとされているバイオプラスチックを選択、サステナブル製品を選択することへの心がけ、そして資源ごみを適切に仕分け、リサイクルへの協力をすることです。プラスチックも紙も捨てればゴミでしかありませんが、リサイクルへ回すことによって資源となります。

②節電・節水

スタンバイ消費を削減するために、使用しない電化製品の電源を OFF にすることで電力の無駄を減少させること、わずかな心がけでエネルギー損失を抑え、電力の節約に貢献するようにしています。節電を意識する余り、冷房を使用せず熱中症で亡くなるというニュースを耳にします。神様からいただいているいのちを大切にすることも私たちの使命です。冷暖房を使用する時は、体調にも配慮して適切に使用することを心がけています。

食器を洗う前に要らなくなった布や紙を使って汚れを落とすひと手間を心がけ、洗剤の適量使用で水の使用量を減少させるようにしています。また再利用できる水は畑の水撒きに使用するようにしています。

③食料廃棄量の削減

賞味期限や消費期限を守ることで、鮮度を保ち、廃棄をなくすこと。そのために必要以上に購入しないよう献立と食材のコントロールに炊事主任は日々その力を発揮しています。また一人ひとりのポーションコントロールで食品の無駄を減少させるように努力しています。

④EM 活用の継続

一人の姉妹が EM を活用する取り組みを行っています。畑に撒き土壌を改良させ作物を育て

ています。また水を浄化させる役割もありますので、お風呂に入れたりすることもあります。しかし全員が EM 活用に取り組むことができていないわけではありませので、これから、環境にも人にもやさしいEMを広く活用できるよう努力していきたいと思っています。

⑤祈りで連携

サステナブルな社会への実現のため、エコロジカルな回心を持続できるよう、具体的な実践とともに、「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」を、各々が一日のうちのどこかで毎日祈ることを決め、環境保全と人間の尊厳を大切にすることに心を向けるようにしています。

私たちにできることは小さなことですが、その小さなことへの努力を怠らないようにし、賢い選択をしていきたい。牛乳パックを洗う時は、大量の水でザブザブ洗うより、少量の水を入れ、口を閉め力強く振り洗うほうが、よりきれいに洗うことができ、水も少なくて済みます。賢くよりよい選択を。また、何かを購入する時に「本当に必要？今あるもので代用できないかな」と立ち止まって工夫することを。小さな努力と工夫、賢い選択は大きな地球を守ることに繋がると考えています。



*写真は、せんだい宇宙館から見た月。地球を守り、いつまでも美しい月と星を見ることができるよう祈りを込めて。